

第 33 回 長良川国際トライアスロン

(岐阜県海津町)

報 告

日 時：2018 年 10 月 8 日（月祝）

スタート：9 時 02 分

参加者数：約 500 人

距 離：スタンダードディスタンス（スイム水温により距離変更）

スイム 1km・バイク 40km・ラン 10km

結 果：総合 24 位（年代別 4 位）

記 録：2 時間 03 分 40 秒

スイム 16:42 (35) バイク 1:09:44 (52) ラン 37:14 (11)

※ () 種目別順位

7 月末の台風の影響で順延になった長良川国際トライアスロンが行われ挑みました。

多くのトライアスリートはここでシーズンを終えますが、今年から新設された第 1 回エイジ日本選手権が 11 月 11 日に宮崎シーガイアで開催されます。この権利獲得が、ケガからの復活をかけ目指してきた今シーズンでした。その場には立ちたいと思っていましたので、その区切りは達しました。

今回もエイジ別（年代別）4 位で表彰台へは立つことができませんでした。今シーズンはとことんこんな感じです。力の戻っていない私が勘違いしないようにと、きっと神様がそうさせ、素晴らしきライバルたちがその形を作ってくれているのだと感じています。結果を見て残念がる自分はまだまだ浅いと感じます。きちんと裏付けを作り、堂々とできる心と体、積み上げた経験を生かす器を満たさなければと心感しています。

今回のレースでは、できていると思っていたが数字にすれば全くそうではなく、改めてこれからの行動に心を込めなければと感じるものでした。

今回併催されていたアンダー 15 のレースでは、ここ数年春の合宿へ招いていただいていることから知り合ったジュニアたちが、私を見つけては結果報告へ立ち寄ってくれたこと。瞳をキラキラさせて私のアドバイスを待つジュニアアスリートたちがとてもかわいく思えるシーンも生まれました。今まであまりなかったことだと思います。

また、妻から聞いた話です。奥さん連中で気の合う仲間が増えています。その一人が、私がここへ戻ってきていることに、「テツローさんよく戻ってきましたね…」と泣いてくれたそうです。

ケガの内容を知る医療現場の人だからかもしれませんが、今の私を見て心を熱くしてくれる人がいてくれること。

そんな人たちのために必死になれること。おかげで、改めて自分の想いを振り返る出来事にもなっています。

人の想いを大切に・・・頑張れる自分でいたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

感謝 トライアスリート福元哲郎





